

## 医師招聘推進事業について



水野晴光議員

【質問】 医師招聘推進事業を本年予算化した内容が、内容と医学生への奨学金支給要項について。

【答弁】 医学生への奨学金月額20万円貸与、一定期間市内の医療機関で働いた場合返済を免除する。医師として当市で働く場合3年勤務で300万円、2年勤務で200万円研究費として支給する。県の研究資金もプラスとなるようにする。

【質問】 飯山ジャンツェの改修を予定されているが内容は。また、施設周辺の人工芝の劣化対応と整備終了時の記念ジャンプ大会を要望する。計画は地元業者で修理を望む。

【答弁】 修理はスモールヒル、ミディアムヒル、照明、メーター板、通路等を改修、周辺の整備も一緒に行う予定。出来るだけ地元業者に発注して行く。記念大会も10月頃になると思うが実行する。

【質問】 湯滝温泉の補修が予算化されたが、内容と食堂の利便性・民間委託、駐車場の拡幅等の考えは。

【答弁】 ヒートポンプ、濾過機、配管、内装の一部を改修、食堂の利便性も工夫したい。駐車場は用地問題ある

が検討する。民間委託は考えていないが業者があれば検討の余地ある。

【質問】 飯山城跡整備計画委員の人数、結論はいつ頃か。大手門から入る案内板や説明看板の設置を望む。

【答弁】 計画策定委員会は12、13名で歴史や景観の有識者を公募。年内に結論付ける。案内板も設置したい。

【質問】 新幹線から飯山の景色が見える防音壁と駅舎を望む。

【答弁】 千曲川橋梁は2mの防音壁なので風景が見えるホームもガラス面の多い方向で働きかける。



医師不足の飯山赤十字病院

## 人材育成を図り 市政発展を



佐藤正夫議員

【質問】 職員の資質向上は重要な課題解決型、目的意識を持つ職員への育成をどう図るか。

【答弁】 市政の課題を捉え、それをどう解決して行くか、考え実行する力をつけることが必要。事後評価反省を繰り返す事が資質向上に役立つ。活性化センターでの勉強、経験も向上になると考える。

【質問】 新幹線駅の立体駐車場は雪国では必須施設だ。市独自で建設出来るか考えるが、近隣市町村との話し合いをするのか。当市は信越線の沿線自治体と言われるが分離で当市に負担が来るのか。

【答弁】 駐車場は開業までに建設する。現在建設、維持費用の負担方法を検討中であり、他市町村への話はしていない。信越線沿線自治体と当市は立ち位置が違うと認識しているが、県の動向を注視。

【質問】 今年の早朝除雪に二部区間で問題があった。パトロールと指導をきちんとするべきだ。またタイヤドーザー除雪後の滑りやすさを防ぐ対策を取ってほしい。

【答弁】 様々な理由により遅れる



着々と進む新幹線工事  
～千曲川に架かる菜の花大橋～

ことも有るが、7時頃迄に終了するように指導している。パトロール強化し再度の指導を徹底して行く。滑り防止策はどんな方法があるか検討して行きたい。

【質問】 害獣対策は待ったなしだ。個人で出来る簡単な方策は無いのか。狩猟を猟友会に頼んでいるが、猟銃の弾等、相当の補助は必要だ。狩猟有資格者を増やすことも考えて。

【答弁】 対策は色々有るが、鳥獣はすぐに慣れてしまう。電気柵が一番有効だ。補助等について、資格者増も含め猟友会と相談中です。

## (仮称) 市民プラザの建設等について



沢川芳三議員

◇ 審議会委員の公募について

【質問】 飯山市の審議会数と公募委員がいる審議会数は幾つか。公募委員のいない審議会の今後の公募予定はどうか。また、その年度の公募を一括して行つてはどうか。

【答弁】 全てを合わせると42の審議会があり、うち9審議会委員を公募している。市民参画の市政を推進するため、今後公募委員を増やしたい。

◇ 高校再編に伴う準備について

【質問】 飯山市の新年度事業については、長野県側と十分打ち合わせのうえ、必要によっては高校側の意見も取り入れたうえで実施すべきと思うが、飯山北高との連絡はどのように行っているのか。

【答弁】 今後とも県としっかり連絡を取るし、飯山北高とも必要な協議を行う。

【質問】 現地改築ということですが、その間に在籍する生徒には勉強やクラブ活動が不自由なく行えるよう、必要な協力等を行うべきと考えるがどうか。



現在の市民会館

行っており、これからも行う。

◇ 飯山プラザの建設等について

【質問】 過疎債充当となると、あと5年間しか残された時間はない。この間に、ホールの規模、会館機能のほかに持たせる機能、建設場所といった解決すべき多くの懸案がある。今後の予定を具体的に示してほしい。

【答弁】 作業を同時並行的に進める。どのような市民プラザにするかは、ある程度方向に意見がまとまるのではないかと。財源的には26億円が限度と考えている。

## 保育園・学校・家庭・地域と 行政が一体となり食育推進計画を



小林初子議員

【質問】 昨年3月議会では、食育推進計画の策定を検討するとしているが、進捗状況はどうか。推進計画の中に、小中学校で給食の代わりに児童生徒が手作りした弁当を持参する「お弁当の日」の取り組みを入れてはどうか。

【答弁】 策定の段階までいっていない。どのように実用性のあるものを作るか市としての問題・課題をはつきりさせて策定を進める。「お弁当の日」の実施は保護者の理解を得ないとできない。

【質問】 厳しい財政状況の中で、公共施設の老朽化に伴う建て替えや、維持管理費の増大等の課題を解決するには市民目線の検証が不可欠。行政運営ではなく行政経営にする考えは。

【答弁】 市民目線の行革は大事だが作業が膨大になり実際にやって効果があるかどうか踏まえながら行革を進めていきたい。

【質問】 機能性低血糖症は食の乱れやストレス等が原因で血糖値が急激に低下したり低い状態にとどまってしまう疾患で、慢性疲労や



体験で生きる力を身につける子どもたち

うつ病、記憶障害等様々な症状を引き起こすことがわかってきているが、医師の認知度は低く検査の保険適用もされず高額な自己負担が必要。低血糖症について市民への周知と「調査研究、保険適用」等について、国へ早期実現の働きかけをお願いしたい。

【答弁】 市民への周知とともに、国へ要望していきたい。

【質問】 選挙の投票時における、候補者名を記したメモや法定ビラの持ち込みについての見解は。

【答弁】 問題ないが充分留意を。